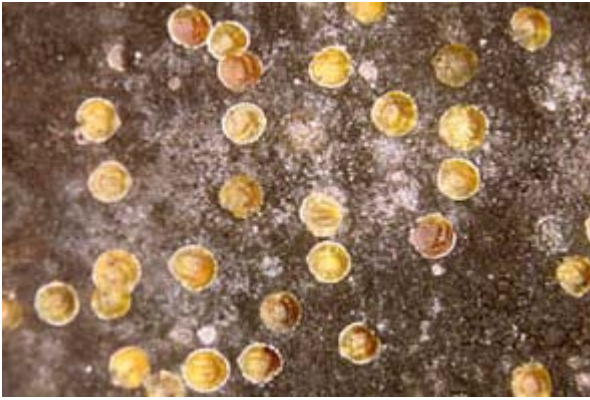


ナラフサカイガラムシ

コナラやミズナラの枝や若い木の幹につくカイガラムシ。最大長約1mm。黄色から茶色、扁平な円形。多発すると枝枯れを引き起こしたり、幼木を枯らすこともあるといわれている。



1. 成虫，径1mm強。2001/5/8。美唄市，庭のミズナラ。

【学名】 *Asterolecanium japonicum*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , フサカイガラムシ科 (Asterolecaniidae)

【分布】 本州，九州；ロシア，朝鮮半島，中国，台湾。北海道からは正式に記録されていないようである。

【生態】

成虫越冬。春に産卵する。年2世代繰り返すようである。

【被害】

2001年に美唄市の庭のミズナラでナラフサカイガラムシと思われるカイガラムシの多発が観察された(写真)。

【文献】

1994. 河合省三. ナラフサカイガラムシ. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論: 424-425. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 防除)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ナラフサカイガラムシ kaigara/narafusa/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/18.

musi1.JPG

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.

